【資料１】

☆岩手県の学級編成の基準

	小学校		中学校
同学年の児童生徒で編成（単式学級）	３５人		３５人
ひき続く２つの学年で編成（複式学級）	１・２学年の複式	８人	８人
	上記以外の複式	１６人	
特別支援学級	８人		８人

☆複式学級の授業について

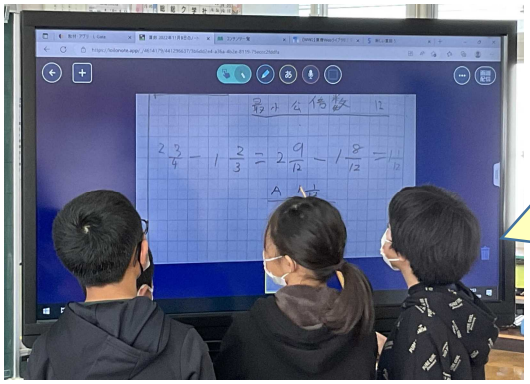
複式学級の良さ	複式学級の課題
・見通しを持って、自分で学ぶ習慣がつく（自立心や自学力） ・上級生が下級生に教えることで理解が深まり、思いやりが育つ。（異学年交流） ・全体の人数が少ないため、一人ひとりの習熟度を把握しやすい。（きめ細かな指導）	・集団的な意見交換やグループ活動が不足しやすい。 ・同級生が少ないため、人間関係が固定化されやすい。 ・教員が、２学年分の教材研究や授業準備が必要になる。

１人の教師が、同時に２つの学年を指導します。
教師は、２つの学年を行ったり来たりしながら、指導します。

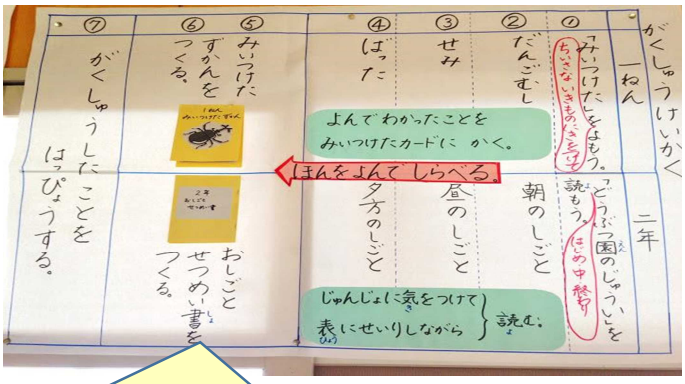


直接、指導を受けている学年

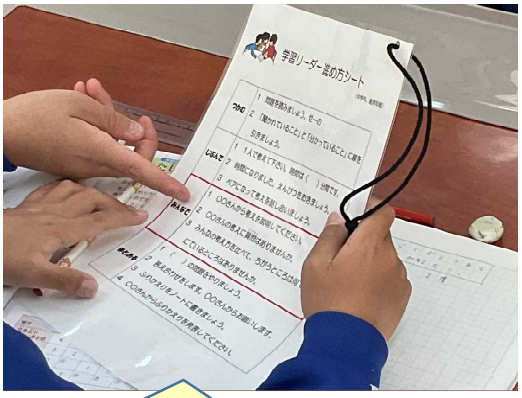
自分たちで学習を進めている学年



複式学級に慣れてくると、自分たちで学びあいができるようになります。
電子黒板を自分たちで操作しながら、学習を進めている場面です。



学習計画を掲示し、自分たちで見通しを持って、学習に取り組めるような環境整備を工夫しています。



学習リーダーの指導を行い、段階的に自分たちで学びあいができるようにしている学校もあります。



集団的な意見交換やグループ活動の不足を補うために、オンラインでも学習交流を行っています。

＊教育委員会では、複式の授業力向上のために、毎年、「複式指導研修会」を行っております。